

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
デジタルビデオ演習 Exercise of Digital Video Editing		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態		授業の性格	
1単位	演習		選択	
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
なし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
小林 大輔	講義棟 1F	火曜～金曜 (授業、会議時間以外)	授業中に指示します	
授業の概要				
パソコン性能の向上とデジタルビデオカメラの普及により、動画編集は身近なパソコンスキルとなりつつある。本講座ではパソコンを使ったデジタルビデオ編集の基礎を学ぶ。				
授業の到達目標				
①パソコンで扱う動画ファイルの種類を理解することができるようにする。 ②Adobe Premiere Elementsの基本操作(タイトル作成、画像の合成、トランジション効果、オーディオ追加)を習得することができるようにする。 ③DVD作成、動画配信の方法を習得することができるようにする。				
授業の方法				
動画編集ソフトAdobe Premiere Elementsの基本操作を習得した後、各自が撮影した動画を編集し、DVD作品を作成して提出する。				
学習の成果				
①動画ファイルの種類、仕組みを説明することができる。 ②パソコンで動画を編集し、映像作品を作成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス			
第2回目	Adobe Premiere Elements の操作方法 1 (動画クリップの配置と編集)			
第3回目	Adobe Premiere Elements の操作方法 2 (動画クリップの特集効果)			
第4回目	Adobe Premiere Elements の操作方法 3 (タイトルや図形の作成)			
第5回目	Adobe Premiere Elements の操作方法 4 (画像の合成)			
第6回目	Adobe Premiere Elements の操作方法 5 (トランジション効果)			

第7回目	Adobe Premiere Elements の操作方法 6 (オーディオの追加)		
第8回目	作品の制作 1		
第9回目	作品の制作 2		
第10回目	作品の制作 3		
第11回目	作品の制作 4		
第12回目	作品の制作 5		
第13回目	作品の制作 6		
第14回目	作品の制作 7		
第15回目	まとめと作品提出		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			加点はしないが、受講態度が著しく悪い場合は減点し、場合によっては退室してもらう。
レポート	100%		提出された作品について①タイトル画面、②3つ以上のシーン、③テロップ、④追加オーディオ、⑤スライドショー、⑥トランジション効果の6項目で採点し、各項目で満点となる条件は授業で説明する。
調査報告書			
小テスト			
中間・学期末試験			
発表内容(態度含む)			
その他			無断欠席は1回につき5点減点する。理由のない遅刻2回で1回の無断欠席として減点する。
教科書と参考図書			
教科書は使用しない。必要に応じてプリントを配布する。			
履修上の心得・ルール			
必ず自分で撮影した動画を使用して作品を作る。ビデオカメラは必要に応じて貸し出すが、台数に限りがあるので、早めに申し出ること。撮影が間に合わずに作品ができない場合は評価不能となるので注意すること。演習中の私語や、演習以外のPCの利用は慎むこと。			